

気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト
市民向けセミナー



わたしたちらしく生きるためのヒント

サンリオピューロランド館長に学ぶ

日時

2月15日(日)
14:00-16:15(開場13:30)

会場

気仙沼中央公民館 ホール

参加・託児無料



事前申込みが必要です。
申込み方法は裏面をご覧ください。

令和6年10月に発足した「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」では、地域や家庭におけるジェンダーギャップを考え、誰もが暮らしやすい地域・社会の構築に向けての学びを得る講演会を開催します。



基調講演

わたしたちらしく生きるためのヒント
～サンリオピューロランド館長に学ぶ～

小巻 亜矢 氏

株式会社サンリオエンターテイメント代表取締役社長

株式会社サンリオエンターテイメント代表取締役社長。サンリオピューロランド館長。

東京出身、東京大学大学院教育学研究科修士課程修了。1983年(株)サンリオ入社。結婚退社、出産などを経てサンリオ関連会社にて仕事復帰。2014年サンリオエンターテイメント顧問就任、2015年サンリオエンターテイメント取締役就任。2016年サンリオピューロランド館長就任、2019年6月より現職。子宮頸がん予防啓発活動「ハロースマイル(Hellosmile)」委員長、NPO法人ハロードリーム実行委員会代表理事、一般社団法人SDGsプラットフォーム代表理事、松竹株式会社社外取締役、富国生命保険相互会社社外取締役。



トークセッション

パネリスト

株式会社サンリオエンターテイメント
代表取締役社長

認定NPO法人底上げ 理事

一般社団法人
ダイアローグ・ジャパン・ソサエティ 理事

株式会社Will Lab 代表取締役

モダレーター

男性だから、女性だからを越えて
「わたしらしく」生きるには?

小巻 亜矢 氏

成宮 崇史 氏

及川 美紀 氏

小安 美和 氏

登壇者のプロフィールは、裏面をご覧ください。>>>

トークセッション登壇者

認定NPO法人底上げ
理事

成宮 崇史 氏



立教大学コミュニティ福祉学科卒。東日本大震災後、東京から気仙沼へボランティアとして入り、約2か月半テント生活をしながら支援活動に従事。「もっと気仙沼のために自分にもできることがあるのでは」と移住を決意し、仲間と共にNPO「底上げ」を設立。その後中高生の探究的な学びの支援やマイプロジェクトの推進を行い、加えて気仙沼まち大学運営協議会のチーフコーディネーターとして市内の学び・対話の場づくりを通して世代を超えて市民が挑戦し、応援し合えるまちの機運づくりに取り組んでいる。



GGPアンバサダー

一般社団法人
ダイアローグ・ジャパン・
ソサエティ 理事

及川 美紀 氏



宮城県石巻市出身。東京女子大学卒。1991年株式会社ポーラ化粧品本舗（現株式会社ポーラ）入社。子育てをしながらキャリアを重ね、埼玉エリアマネージャー、2009年商品企画部長を経て、2012年執行役員、2014年取締役に就任。2020年より代表取締役社長を務め、2024年末をもって同社を退任。2021年より一般社団法人ダイアローグ・ジャパン・ソサエティ理事。東京・竹芝にある「対話の森ミュージアム」の運営をサポートしている。



GGPアドバイザー

株式会社Will Lab
代表取締役



小安 美和 氏

1995年日本経済新聞社入社。2005年株式会社リクルート入社後、リクルートジョブズ執行役員などを歴任し、2016年に退社。スイスIMD「女性の戦略的リーダーシッププログラム」修了。女性のエンパワーメントをテーマに株式会社Will Labを設立し、代表取締役を務める。2019年より内閣府男女共同参画推進連携会議有識者議員に就任。「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」のコーディネートおよび運営支援を担っている。



気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト

ジェンダーギャップとは、男女の違いにより生じる格差のことをいいます。

ジェンダーギャップは、社会通念・慣習などにより、「家事や子育ては女性の仕事」「女性は庶務や経理の仕事が向いている」「男女で賃金格差がある」

「男性は育児休暇を取りにくい」など、家庭・地域・職場などさまざまな場面で現れています。本市では人口減少が進み、若者、特に女性の流出やU・Iターン率の低さが大きな課題となっており、ジェンダーギャップもその要因の一つとして考えています。人口減少の緩和とともに、企業の人材獲得・確保のためには、ジェンダーギャップ解消への理解と取組を推進し、男性も女性も、誰もが働きやすく、働きがいのある職場環境をつくることが必要です。

ジェンダーギャップ解消の取組については、『～こどもと女性の瞳かがやく～けせんぬま Well-being プラン』のテーマの「雇用創出」「就労環境の改善」の打ち手の一つとして、「ジェンダーギャップ解消」「女性の自己実現」「女性活躍」の視点・施策を取り入れています。また、気仙沼商工会議所人口減少対策委員会から市へ提出された提案書にも盛り込まれていることから、官民連携でジェンダーギャップ解消の取組を推進していくため、令和6年10月に「気仙沼市ジェンダーギャップ解消プロジェクト」を発足させました。本プロジェクトでは、市内の会員事業所を対象に、経営者向け・従業員向けセミナーの開催や参加者同士の交流の場の創出などを通して、ジェンダーギャップへの理解を深め、家庭・地域・職場などの行動につながる取組を進めています。



申込締切
2/5木

お申込み

下記の二次元バーコードまたはお電話にてお申込みください。



託児なしの方の
申込フォーム



託児ありの方の
申込フォーム

気仙沼市震災復興・企画課
けせんぬま創生戦略室

0226-52-0695

